

ALT (英語指導助手)

Assistant Language Teacher (外国語指導助手)とは、主に外国語担当教員等の助手として外国語を教えます。

- ALTによる指導を受けると、
 - 外国人とのコミュニケーション能力を身に付ける。
 - 英語を使う必然性を感じたり、英語をもっと話してみたいという気持ちを抱かせる。
 - 英語だけでなく、その背景にある文化や習慣、考え方などを体感できる。
- などのメリットがあります。

JETプログラム

かのや英語大好き事業のほかに、「語学指導等を行う外国青年招致事業」(通称JETプログラム)を実施しています。

この事業により、外国人指導助手が鹿屋市にも派遣されており、市内の小中学校や高等学校等で英語を教えたり、各自治体における国際交流事業に参加したりしています。

これにより、諸外国との相互理解を深め、日本の国際化に寄与することが期待されています。



②小学校英語科と中学校英語科の接続の研究

各英語教育圏内の小・中学校の教員合同で、音声重視の授業や発達段階に応じた指導の方法などを研究しています。

③鹿屋市小学校英語教育指導法研修会

鹿兒島純心女子大学景浦攻先生など全国的にも著名な先生から、最新の情報や指導法について、研修を受けています。



事業の研究結果の発表については、研究公開という形で行っています。昨年度は、2校の推進校で実施しました。

④研究推進校による

研究公開

小学校教師の英語の指導力向上に向け、毎年「小学校英語教育指導法研修会」を実施しています。

③鹿屋市小学校英語教育指導法研修会

指導法研修会

成果と今後の取り組み

④研究推進校による研究公開

10月29日に西原台小学校で行われた研究公開の様子。
※平成25年度推進校＝鹿屋・西原台・下名・細山田小学校



下名小学校(推進校)

川崎教頭先生

「かのや英語大好き事業」の実施により、ALTの先生とは別に日本人英語講師の先生が英語の授業に来てくださいます。英語が話せる日本人のモデルだという意識で子どもたちの前に立たれていますので、子どもたちにとっては、講師の先生みたいに日本人でも英語が話せるようになりたいというあこがれの存在です。

小学校の教員は、英語の専門ではないので授業中に一緒にいるだけで大変心強い存在です。発音等で困ったときや英語で何というのか詰まった時は助かります。

日本人英語指導講師の先生の存在は、児童にとっても小学校教員にとっても英語を大好きにしてくださる貴重な存在だと思います。

LET'S STUDY ENGLISH

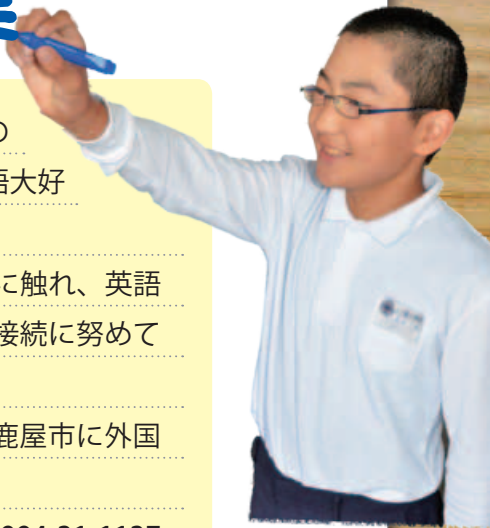
かのや英語大好き事業

鹿屋市では、小学校の低学年から英語を通してコミュニケーション能力の育成とグローバル化社会の中で活躍できる人材育成を目指して「かのや英語大好き事業」に平成17年度より取り組んでおり、現在9年目を迎えています。

担任の先生や外国人の先生とともに、外国語活動の授業の中で、異文化に触れ、英語に慣れ親しむことで英語好きな子どもを育み、中学校英語教育への円滑な接続に努めています。

今回は、この「かのや英語大好き事業」の現在の状況と、7・8月から鹿屋市に外国語指導助手として来日している4人のALTを紹介します。

【問い合わせ】 市学校教育課 ☎ 0994-31-1137



かのや英語大好き事業

鹿屋市は、平成17年度から、小学校において文部科学省の構造改革特別区地域特区の認定を受け、将来、国際社会で活躍できる人材の育成を目指し、「かのや英語大好き事業」をスタートしました。

市では独自に「英語指導講師」を採用し、小学校における「英語科」の指導の充実に努め、県内でも先進的に小学校英語教育の研究・実践を進めてきました。

その後特区の範囲を徐々に広げ、平成20年度からは、教育課程特例校の認定を受け、市内すべての小学校全学年で小学校英語教育を実施する「かのや英語大好き事業」としてスタートしました。

児童が言語や文化に興味をもち、英語を聞いたり話したりして、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することを目的に、小学校1・2年生で年間10時間、3・4年生で20時間、5・6年生で35時間の授業を実施しています。

具体的には

①英語指導講師を

活用した指導体制
独自に4人の「英語指導講師」を採用し、すべての小学校に派遣する体制を整え、英語科指導の質の充実を図っています。



①英語指導講師を活用した指導体制

日本人の英語指導講師が、各英語教育圏や市内全域のアドバイザーとなり、先生やALTを補助します。

参考資料

●児童向けアンケート調査結果

Q1. 英語の授業は楽しいですか?

楽しい 97.6%
楽しくない 2.4%

Q2. 楽しい活動は何ですか?

1位 ゲーム
2位 歌

Q3. 難しいと思うことはなんですか?

1位 英語の発音
2位 英語を言うこと

●県基礎・基本定着度調査結果 (中学1年英語)

●英語を「聞く力」
県平均 85.4% 市平均 86.5%